

2023 年度秋田県豪雨水害について

この度の豪雨により東北各地、特に秋田県に甚大なる被害が生じています。
いま困難の中にある方々の上に神さまのお支えがありますようお祈り申し上げます。

1, 秋田地区の豪雨による被災状況

教区として把握している秋田地区の被害状況（7/27 現在）は下記の通りです。

①教会、牧師館

秋田檜山教会

- ・教会堂、牧師館共に床下浸水。
- ・除雪機、自動車、使用不能。
- ・牧師館玄関ドア要交換。

②教会員関係

- ・床上浸水…3 軒(2 教会)
- ・床下浸水…11 軒(4 教会)

2, 「秋田豪雨災害支援委員会」設置のお知らせ

この度の秋田豪雨災害を受けて、常置委員会のもと、秋田豪雨災害支援委員会が立ち上がりました。

委員会のメンバーと主な活動内容は下記の通りです。

委員：中西絵津子教師（協本教会。常置委員）、村尾政治教師（秋田檜山教会。秋田地区長）、村尾いづみ教師（秋田檜山教会）、飯田平和教師（男鹿教会。秋田地区書記）、田中真教師（秋田高陽教会）、雲然俊美教師（秋田桜教会）

アドバイザー：森分和基教師（宮古教会）

活動：秋田豪雨災害に関する諸支援活動の調整および取りまとめ、豪雨被害に見舞われた教会堂・牧師館、信徒宅の片付けや清掃作業のためのボランティアの募集・派遣、秋田地区内諸教会および奥羽教区への情報発信等。

委員会の設置から、すでに 2 回の委員会が開催されています。

この度の豪雨で被災された皆さまを覚えて、ご一緒に祈りを合わせてゆきたいと思います。

秋田豪雨災害支援募金のお願い

主イエス・キリストの御名を賛美いたします。

去る7月14～16日の大雨により、秋田県の秋田市、男鹿市、五城目町などの地域は、家屋や田畑への浸水、土砂崩れといった甚大な被害に見舞われました。特に、日本基督教団の教会関係では、秋田檜山教会の教会堂と牧師館が床下浸水となったほか、秋田市内の教団の教会の信徒宅が、床上浸水（7月27日現在4軒）、床下浸水（同11軒）といった被害に遭っています。

この度、奥羽教区では、教区常置委員会のもとに「秋田豪雨災害支援委員会」（委員長：中西絵津子教師）を設置し、被害に遭われた教会や信徒の方たちの支援活動を進めております。現在のところ、信徒宅ではすでに家族や近所の方たち、および、教会員の方たちの協力のもとに片付けや清掃等の作業が進められています。しかしながら秋田檜山教会においては、教会堂・牧師館の床下全面に泥水が入り込んでしまったため、今後、ボランティアの方たちに来ていただき、業者にもお願いして、床下の泥の除去・乾燥・消毒作業を行う予定であります。

つきましては、教会堂・牧師館損壊箇所の修理、使用不能となった備品（除雪機、車など）の購入、ボランティア受け入れ関係費用、そして、浸水被害に遭われた教会と信徒宅へのお見舞等のため、下記のように募金を開始することにいたしました。

どうぞ、祈りと共に支援募金にご協力くださいますよう、よろしく願いいたします。

2023年7月29日

日本基督教団 奥羽教区
総会議長 小林よう子
常置委員会

《秋田豪雨災害支援募金》

- 目標額 380万円
- 使途
 - ①被災教会・信徒宅補修支援 150万円
 - ②被災教会・牧師館備品購入支援 130万円
 - ③ボランティア受け入れ費用支援 80万円
 - ④その他 20万円
- 募金期間 2023年8月1日～11月30日
- 送金先 振替口座 記号番号 02330-9-1432
加入者名 日本基督教団奥羽教区

*通信欄に、「秋田豪雨災害支援」または「秋田支援」とお書きください。

*「振替払込請求書兼受領証」をもって領収書とさせていただきますが、別に領収書が必要な場合は、通信欄に「領収書必要」とお書きください。